

# 油絵具のホワイト

Colors Anatomy

初めて油絵具を買いに画材店に行くと、ホワイトの種類が多さにびっくりした経験はないでしょうか。合成顔料や展色材に関する研究は、19、20世紀に入ると急速に進みました。歴史的に見ると、いちばん古いのはシルバー ホワイト。そしてジンク ホワイト、チタニウム ホワイト、パーマネント ホワイト、セラミック ホワイト、クイックドライイング ホワイトの順です。ホルベインでは、常時6種類の描画用のホワイトを揃えています。以下にそれぞれのホワイトの特長と性質、用途を紹介します。

## ■中描きに適した「シルバー ホワイト」

中世〜近世の絵画で、重要な白だった鉛白をベースにしたホワイト。黄みで温かみがある色調が特長です。顔料の鉛白に毒性があり、硫黄を含んだ絵具と混ぜると黒変の恐れがあるため現在では主流を外れていますが、塗膜が堅牢で乾燥が早いので中描き用のホワイトとして珍重されています。

## ■上描き用として愛用者が多い「ジンク ホワイト」

シルバー ホワイトに代わるホワイトとして開発。青みのあるホワイトで、混色時の発色が美しいのが特長です。顔料の亜鉛華の作用で、上に塗る絵具に亀裂・剥離を起すため地塗り・下塗りには使用できませんが、上描き用として今も画家に愛されているホワイトです。

## ■塗りつぶし、ハイライト表現に適した「チタニウム ホワイト」

20世紀に開発された顔料、チタン白を用いたホワイトです。着色力、隠ぺい力は6種類中最大です。うっかり混ぜすぎると「色を喰ってしまう狼」と嫌う人もいますが、薄塗りでの純白表現、ハイライト表現にすぐれています。

## ■初心者が使いやすい「パーマネント ホワイト」

強すぎるチタニウム ホワイトの着色力、隠ぺい力を抑え

た、使いやすいホワイトです。混色制限も毒性もないため、初心者が扱いやすいホワイトのベストセラーです。

## ■現代科学が産んだホワイトの傑作「セラミック ホワイト」

ホルベインが1990年に開発した、新素材セラミック(チタン酸ストロンチウム)を使ったホワイトです。混色時の色みの美しさ、黄ばみの少なさ、群を抜いた安定性…。全ての点ですぐれた万能のホワイトです。全ホワイト中、最も青みが強く白が際立って美しいため、一度使った人はファンになります。

## ■地塗りに最適「クイックドライイング ホワイト」

チタン白、白亜を顔料に開発された速乾性のホワイトです。薄く塗れば4〜6時間で乾燥。盛り上げてナイフで削れば、凹凸のある独自のテクスチャをつくることができます。地塗りに最適のホワイトです。

人間の眼は、青みのある白色をより白く感じます。計器測定で白色度の最も高いのはチタニウム ホワイトですが、眼で見るとセラミック ホワイトがいちばん純白に近いと感じます。絵具は技術だけでなく、画家の感性で磨かれた製品です。着色力、隠ぺい力、白色度、透明性といった性能は数値で示せますが、各ホワイトには数値では測れない魅力があります。「色を薄める」「明度を上げる」「隠ぺいする」「トーンを落とす」「ハイライトをつける」「下地に塗る」など、ホワイトは画家が最も頻繁に用いる絵具です。それぞれのホワイトの個性や魅力を愛する画家がいる限り、メーカーは全てを供給していく義務があるようです。



セラミック ホワイト

### ホワイトの「着色力」「隠ぺい力」比較

クリムソンレーキの原色	セラミック ホワイト	シルバー ホワイト	ジンク ホワイト	チタニウム ホワイト	パーマネント ホワイト	クイックドライイング ホワイト

\* (上) 着色力の比較=原色(クリムソンレーキ)に2倍量の各ホワイトを混ぜ、淡くなる割合を比較したもの。  
\* (下) 隠ぺい力の比較=原色(クリムソンレーキ)を塗った上に、筆で各ホワイトを同じ厚みに塗り、透明感を比較したもの。

※参考文献:「絵具材料ハンドブック」ホルベイン工業技術部編(中央公論美術出版)など

ホルベイン絵具に関する  
ご質問・ご相談は...

ホルベイン絵具 技術サービスセンター TEL.0729(85)1223  
〒579-8063 東大阪市横小路町4-10-52  
電話受付時間/9:00~16:00 月~金曜日(祝日を除く)



ホルベイン絵具

ホルベイン工業株式会社 東京都豊島区東池袋2-18-4 TEL.03(3983)9251 大阪府東大阪市上小阪1-3-20 TEL.06(6723)1554

www.holbein-works.co.jp